

# シティプロモーションの最前線基地

## 愛着を育てる 学び交流の場

小美玉市職員としてシティプロモーション・広報を担当している代々城さんは、広報おみたまで全国3位に入選した実力者。代々城さんから見たものの存在は「小美玉市のシティプロモーション的な動きの最前線基地だ」と思っています。子どもから高齢の方までたくさんの人たちが、実にさまざまなきっかけでみののくにに繋がって、徐々に足繁く通うようになり、自分の居場所として愛着を持っています。全国から視察にやってくるだけあって、本当にすごいと思います。シティプロモーションの全国的な潮流は「自分のまちを知り合いにお勧めし、まちを良くする活動に参加し、その活動に感謝・応援する、この3つの意欲を高める

ための活動」。みののくにに参加する中で、自分の中のダイヤの原石を見つけ、磨き合い、光をあてて輝き出す人たちが次々と出てくる、まさに「ダイヤモンドシティ小美玉」の最前線基地。

「年齢問わず、みののくにへの愛着を恥ずかしがらずに言える人たちを見ていると、自分の心に素直になれる場所のだと感じます」。家族や出身校に近い愛着を寄せる存在を住民自身が育てているのがみののくにの特徴、と代々城さん。「プライベートルで関わっているから気づいた感情なのかもしれません」と語ります。

価値観が多様化した現代社会において、正解は一つではないからこそ対話が大事。みののくに各チームの住民リーダーの合意形成に導く手腕はすごい、と感心。代々城さんもそのリーダーの一人として、みののくにパートナーズ262人の共同役員も務めています。「正直、リーダーとしての難しさも感じています。会議をどう進めるか、どんなふうに設定するか、どう問いかけた方がいいのか、頭をフル回転させています」と代々城さん。ファシリテーション（会議の準備・進行術）をみののくにで学び経験していることで、会議参加者の積極性・自発性・心理的安全性が高まり、職場でも役に立っています。

まなびtoプラスは、発足して2年目。これまで企画した研修は「企画書作成」「インスタグラム発信」「クラウドファンディング」「広報PR」。企業からも学びと交流の場として重宝されており、住民、市職員、市議会議員、企業人が混じって学び合う場となっています。学んだことを実践し、みののくにをますます元気に育てていきましょう。

（藤田佐知子）



まなび to プラス 代表

よ よ ぎ え り  
代々城 衣里さん

みの〜れと共に生活するスタイル  
**Minole Life**  
のすすめ

No.219

休日はのんびりと家庭菜園で野菜作り。今年の夏に植えたキュウリは「場所が良かったから豊作でした」。学びと交流を促す研修企画チーム「まなびtoプラス」代表を務める、小美玉市下馬場区にお住まいの代々城衣里さんにインタビューします。